

問題集はなんとなく選ぶな! クエスチョン・バンクCBTは ココが違う!



「CBTなんて、問題集をひととおり解いておけば受かるんじゃ…」なんていうアナタ！そんな意識でCBTの勉強をするのは、はっきり言って“モッタイナイ”。これから先に待ち受けている臨床実習、マッチング、卒試、国試…つまり怒涛の試験の嵐を意識して、CBTから国試までずっと役に立つ“コストパフォーマンスのよい”学習をしておくのが、賢い時間の使い方というものです。

そんなみなさんにおすすめしたいのが、メディックメディアのCBT問題集『クエスチョン・バンクCBT』(以下、『QBCBT』)。

『QBCBT』は、プール問題4巻+最新問題1巻の5巻構成。vol.1にはガイドラインA・B・C、vol.2にはガイドラインDの1～11、vol.3にはガイドラインDの12～15・E・F、vol.4には多選択肢型・4連問が収録されています。vol.5には全範囲の最新復元問題を収録。さらにvol.1には基礎医学のまとめ「Lecture」を掲載しています。



『QBCBT』には、みなさんが“コストパフォーマンスよく”
学習するためのヒミツがギュッと詰まってるんです！

“コストパフォーマンスのよい” 学習のための3つのヒミツ

① 効率重視のコンパクト設計

→ 役立つ知識だけを繰り返し勉強できる！

② ナットクの解説と図表を完備

→ 繰り返し解くことで“ずっと使える”知識の基盤ができる！

③ メディック好評書籍に完全連携

→ “もっと知りたい”が速攻解決！ “CBT後”的学習にも使える！

① 役立つ知識だけが詰まってる！

CBTで採点対象となるプール問題は、20,000問以上ある上、絶えず削除・追加を繰り返し、入れ替えられています。いくら過去問をたくさん解いても、同じ問題にたまたま当たることはそうそう期待できません。

『QBCBT』は、「この1問が解ければ他も解ける」問題ばかりを厳選し、後述の“わかる”解説をつけることで、どんな問題が出ても対応できる深い理解を促進する構成になっています。

良問を 厳選! -(4)-(5)-1)	
53	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
脾腫をきたさないのはどれか。	
a	肝硬変
c	慢性骨髄性白血病
e	伝染性单核球症
b	溶血性貧血
d	再生不良性貧血

脾腫をきたす疾患

- 1) 血液疾患：慢性骨髓性白血病、慢性リンパ性白血病、骨髓線維症、溶血性貧血、悪性リンパ腫の一部（脾臓浸潤など）など。
- 2) 感染症疾患：伝染性单核球症、マラリア、細菌性心内膜炎など。
- 3) 肝疾患：肝硬変などの門脈圧亢進を伴う疾患。

②繰り返し解いて“病気の知識”を定着！

『QBCBT』の解説は、CBT受験生の希望に沿って作成されています。

全選択肢の根拠がわかる解説文はもちろん、ぱっと見てわかる図表もたくさん掲載。ほしいところにほしい情報があるので、まさに「かゆいところに手が届く」設計。**質のいい解説とパッと見てわかる図表で、必要な知識だけを繰り返し学習**することで、CBTといわず今後のすべての試験で役立つ、何をどう問われても答えられる知識基盤が形成されてゆきます。



③「もっと知りたい」は参照ページで瞬時に理解！

問題集を解いていて気づいた、わからないところ、もっと知りたいところ…成書でいちいち調べていたら時間がいくらあっても足りないけど、わからないままにしておくのは“モッタナイ”！

『QBCBT』は、みなさんにご好評いただいているメディックメディアの他書籍への**参照ページを完備**しています。CBT受験生のみなさんにオススメなのはズバリ『レビュー・ブック』『病気がみえる』『診察と手技がみえる』などのシリーズです！ これさえあれば、サクッと疑問解決できちゃいます。

完全対応！



さらに…

このシリーズ、CBT以降もずっと使えるんです。というのは、みなさんがほぼ確実に使用する国試対策問題集『クエスチョン・バンク』も、このシリーズ対応だから。

先を見据えて利用しておけば、『クエスチョン・バンク』を中心とした国試対策の学習にスムーズに移行できるのです！

5年生以降
ほぼ確実に
使用



つまり…

●『QBCBT』を繰り返し解く

→“ずっと役立つ”知識の基盤が身につく！

●関連書籍を活用する

→国試対策の学習にスムーズに移行できる！

→『QBCBT』で勉強したことが、“CBT後”的に役立つ！

これが、『QBCBT』のコストパフォーマンスのヒミツなのです！

先輩たちの声

●「QB CBT」は解説がわかりやすかったです。答以外の選択肢にもきちんと解説があり、欲しい所でまとめや図が載っていました。後輩には「QB CBT」を勧めたいと思います。
(S大学 Hさん)

●QBCBTでは解説がとてもしっかりしていて、他の問題も解けるような情報も多く載っていて良かったです。
(M大学 Oさん)

●QBCBTは、他の参考書の参照ページやエッセンスが記されていて本当に勉強しあすかったです。
(Y大学 Sさん)

見ればわかる！ やればわかる！ ナットクの解説サンプルは[こちら](#)